

訪問看護ステーションの役割について

訪問看護ステーションひかりあ

秋山千歳

本日の流れ

- ・日本の精神科医療の展望
- ・精神科訪問看護とは
- ・訪問看護の効果
- ・リカバリーとは
- ・精神科訪問看護で提供されるケア内容
- ・訪問看護の流れ

日本の精神科医療の展望

「入院医療中心から地域生活中心へ」

2022年 国連から日本に障害者差別解消への勧告



障害があっても、入院せずに、地域で安心して
暮らせるように、法と地域を作っていくように勧告

精神科訪問看護とは

精神科訪問看護

「精神障害をもって地域で暮らす人の健康と生活を支え、利用者と家族のリカバリーを支援する医療サービスである。」

厚生労働省 令和四年度障害者総合福祉推進事業 地域における支援ニーズの高いものに対する精神科訪問看護の実態調査報告書より引用

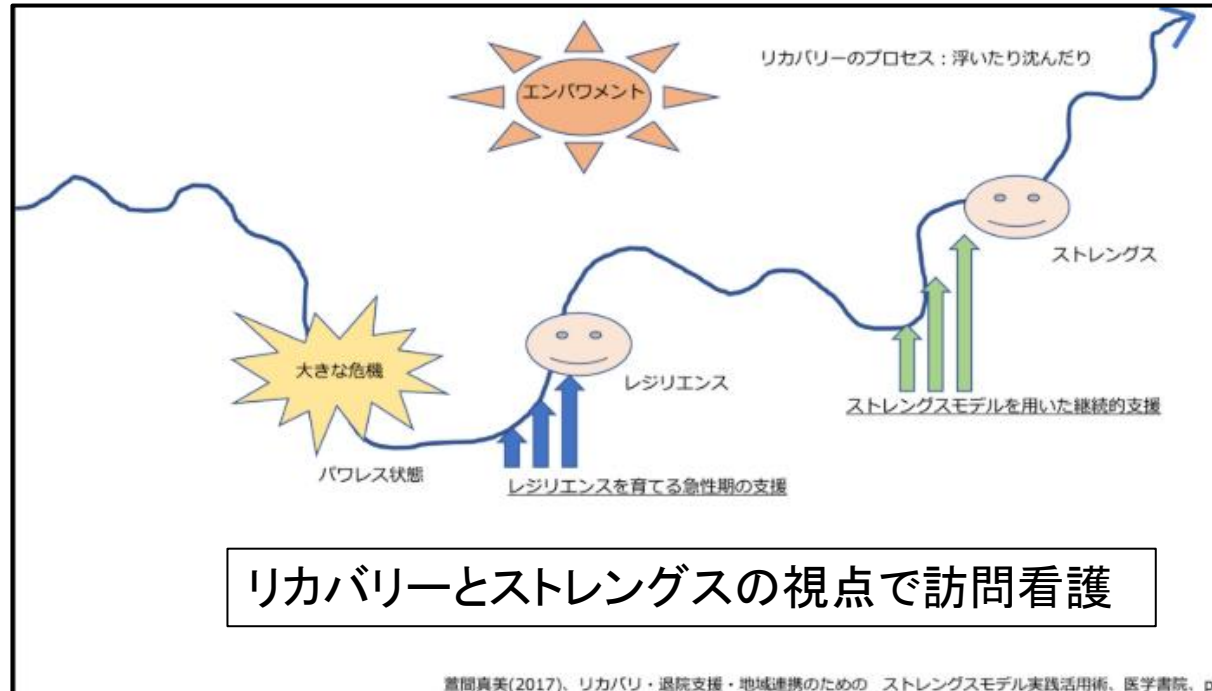
精神科訪問看護の目的

「精神障害を持つ人自身がしたいこと、夢を実現できるように必要なサポートを提供すること。」

萱間真実(編).精神科訪問看護 テキスト 利用者と家族の地域生活を支えるために.中央 法規出版 2020; 16.

利用料金 医療保険と合わせて、自立支援医療(障害者総合支援法の医療費補助)が利用可能

訪問看護の効果



図は萱間真美. 伴走型支援と問題解決型支援; 看護はハイブリッドモデルで.
日本精神保健看護学会誌, 2021, 29.Supplement: 6-13.に追加記載

通院中・退院時に訪問看護開始した利用者は、訪問看護開始前後 2年間の入院日数は大きく減少する。

精神科訪問看護開始前の2年間の精神科総入院日数
279.3日→73.9日

(平成17年度厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業, 精神科看護における介入技術の明確化及び評価に関する研究 (主任研究者: 萱間真美))

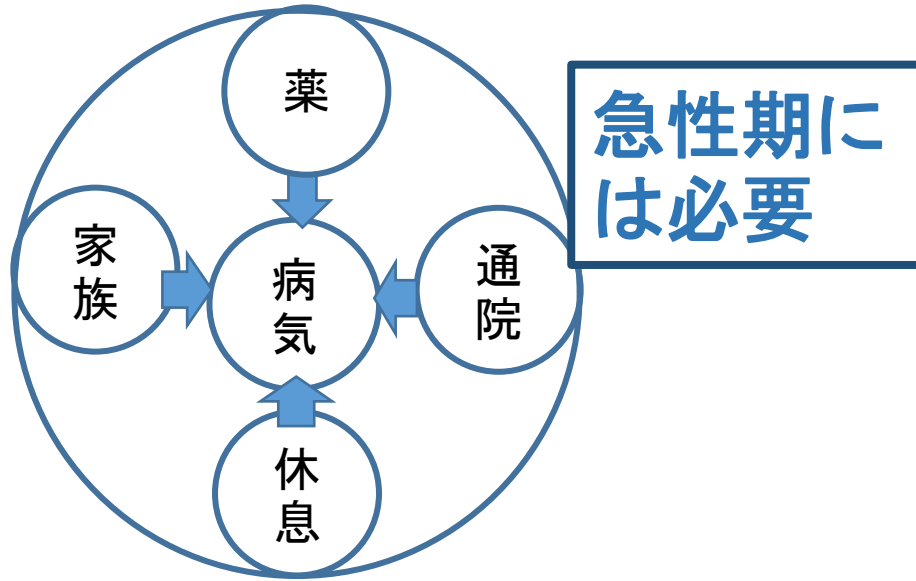
リカバリーとは

リカバリーは過程であり、生き方であり、構えであり、日々の挑戦の仕方です。平坦な一本調子の直線的なみちで はありません。・・・願いは、地域の中で暮らし、働き、愛し、そこで自分が重要な貢献をすることなのです。(Deegan.P.E 1988)



問題解決型思考

病気自体を小さくしようとする

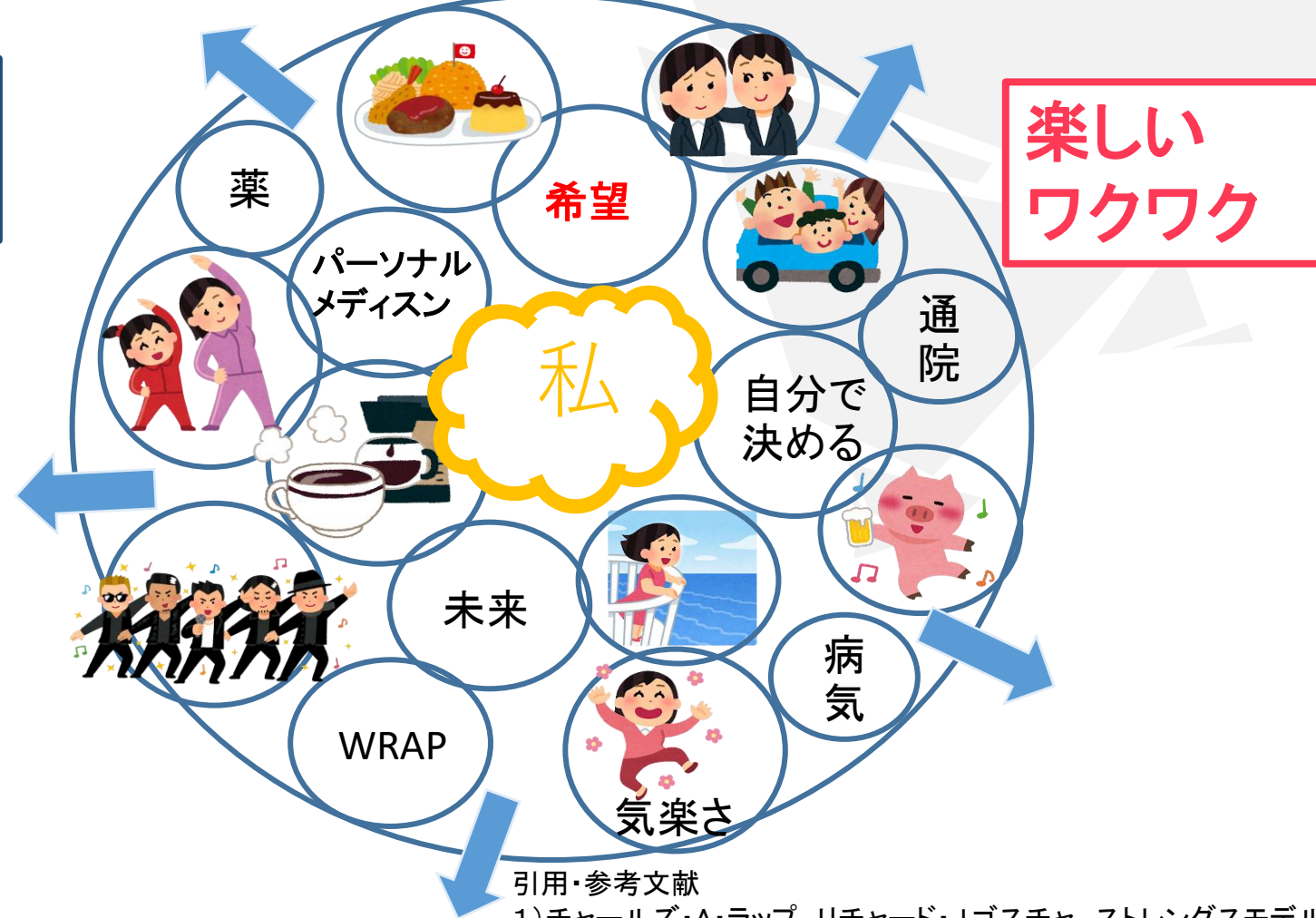


問題を見続ける問題が生じる
→医療(薬)で解決しようとしすぎる
→患者さんの自尊感情が低下する
→医療の中にパワーバランスが生まれる
→医療者は患者さんを管理しようとする

個人的には、、、
→辛さが自己開示できなくなり、満身創痍、、、

リカバリー思考

健康面を大きくし、生活に占める病気の割合を小さくする



引用・参考文献

- 1) チャールズ・A・ラップ, リチャード・J・ゴスチャ ストレングスモデル: リカバリー思考の精神保健福祉サービス 金剛出版
- 2) 「リカバリー」再考: 生きがいを支援する 支援者の考えるリカバリー 精神科臨床サービス, 10(4)

精神科訪問看護で提供されるケア内容 (瀬戸らの研究報告2008に加筆)

1) 日常生活の維持／生活技能の獲得・拡大

- 利用者の属しているコミュニティへの参加を維持できる支援(工夫を一緒に考える)。
低下したセルフケア向上を図るための対処方法を一緒に考える。

2) 対人関係の維持・構築

- 利用者の権利を擁護。どんな人・サポートを受けると安心で安全だろうか？をか考える。
例)「あなたは人格が素晴らしいから、他の人とつながれると思いますよ」

3) 家族関係の調整

- 利用者の苦労や思いを代弁し伝える。利用者・家族を含めて支援し、誰かのせいにしない。
訪問では、家族の健康状態をさりげに尋ね、サポート体制を確認する。

4) 精神症状の悪化や憎悪を防ぐ

- 利用者のレジリエンスを信じる・大切にする。その人のやり方での対処方法の獲得を支援。
精神症状・内服・副作用の確認、内服方法を検討・工夫する。必要時関係機関に連絡。

精神科訪問看護で提供されるケア内容 (瀬戸らの研究報告2008に加筆)

5) 身体症状の発症や進行を防ぐ

→VS測定・身体症状の確認・他科通院治療状況の確認・必要時病院受診を勧める

例) 楽しく体を動かせる方法と一緒にを行う。YouTubeを見て流行りの曲を踊る。

6) ケアの連携

→患者さんがどの過程でも決定権を持つことを意識し、関係機関と連携する。

例) 利用者の希望が大切にされる。 ケア会議前に希望を確認し必要時会議で代弁する。

7) 社会資源の活用

→医療・福祉、居場所(地域の公民館のイベント等)・ピア活動・プログラムの紹介

例) 心理教育・IMR・WRAP・リカバリーカレッジ・パーソナルメディスン等

8) 対象者のエンパワメント

→利用者自身にレジリエンスがあり、問題を解決していく力があることを伝える。

例) 日頃の苦労をねぎらい、支持する。研修では「褒めごろしする」とも。

訪問看護の流れ（アウトリーチ研修資料参照し作成）

訪問内容	私たちがしていること	研修での学び
挨拶	看護師としてではなく、来客者としてのふるまう。 （あれやこれや問題を指摘しない）	患者さんの部屋を病室にしない。
ジョイニング VS測定	世間話や最近の楽しかったことなどを話題にして、場を温める。雑談しながら、生活面・環境・人格・能力等をほめる。（ストレングスに注目する）	すぐに「調子はどう？」は× 普通のお客さんは相手をほめて、世間話から始める。
やりたい事・困った事を聴く	やりたいことを行動に移す・困った事に対処するためにしている方法の確認や、スモールステップを考える。 必要時、その場で関係機関に連絡。 ※地域の居場所探し・ピア活動の紹介	患者さんの人生の希望を否定しないで聴く。自身がレジリエンス・解決策を持っていることを意識する。サポートの確認。
訪問の内容・次回までにできそうなことを確認し訪問を終える	「今日の訪問でこんなことが話題になったけど、〇〇をやったら気分が切り替えられそうだね。やってみてどうだったか、来週教えてくださいね。」	次の訪問まで、自分の力・やり方で過ごせそうだと意識してもらう。
必要時関係機関に連絡	訪問後、GH・関係機関に状態の悪化等を報告、役割分担の確認。	すべての過程で本人の意思決定が尊重される。

ご清聴ありがとうございました！

～訪問でよく使うHP等のご紹介～

リカバリー

リカバリー(回復過程)を学べます



- ・WRAP
- ・経験から学ぶ
- ・コンボ
- ・心の元気+



- ・リカバリーカレッジ
- ・共同創造



パーソナル・
メディスン
セルフケアのための
プログラム



働きたい！時に、
受けない配慮を考
える



体が安心する感覚
を訪問で体験する

